

サジオモダカ

Alisma plantago-aquatica L. var. *orientale* Sam.

オモダカ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

1900年代末まで、県内では自生が確認されていなかったが、その後稀産することが判明した。(現況:RO)

形態

ヘラオモダカと良く似ているが、やや小形。葉身の基部がヘラオモダカでは次第に狭くなって葉柄となるが、本種では葉身の基部が丸く、葉柄との境界が明確である。

国内分布

北海道・本州北部、アジア東北部。

県内分布

加賀中央区。

生態など

浅い水底から直立する多年生草本。三数性、葉は根生で鋸歯がない。花は両性。

生育環境

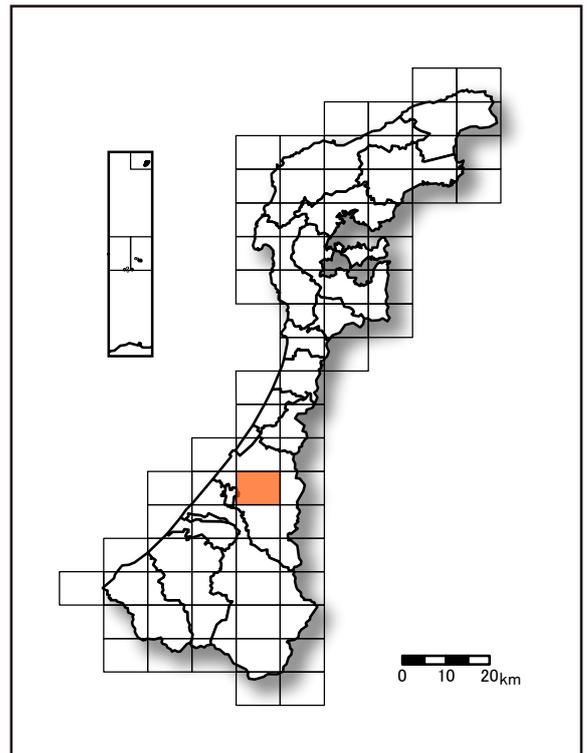
水田、池沼など湿地に生育。

危険要因

池沼開発、河川開発、湿地開発、農薬汚染、自然遷移。



本多郁夫・2001年10月25日・手取川



県内の分布